

地域経済分析システム（RESAS）で見るむかわ町

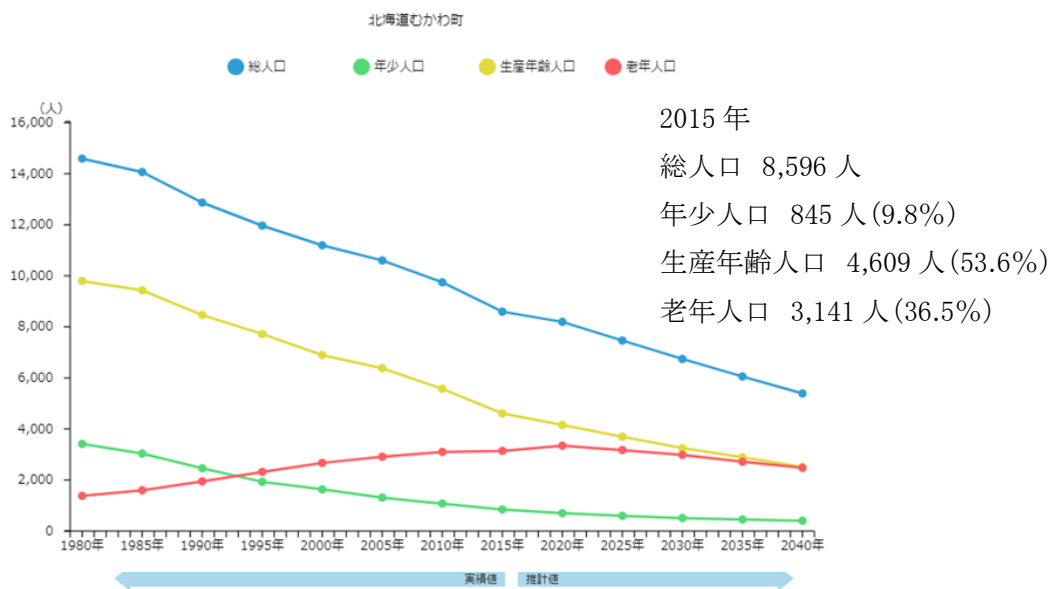
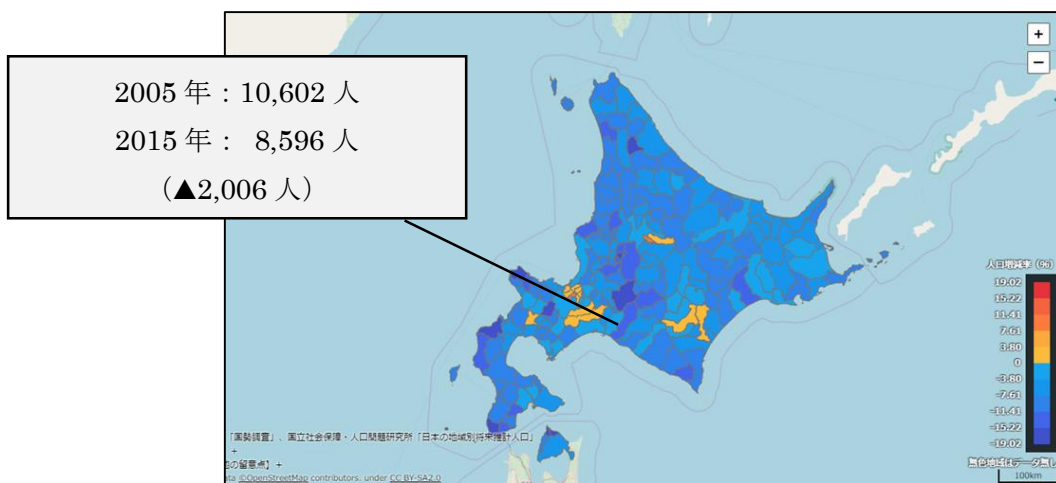
平成30年6月

むかわ町商工会

1. 人口の動向

鵜川町と穂別町が合併し、むかわ町が誕生した、2005年の人口が10,602人でしたが、10年後の2015年には、人口が8,596人と2,006人減少しました。2017年8月末の住民基本台帳上では、8,464人となり、減少率の鈍化はみられますが人口の減少は続いていくものと思われます。

人口推移の推計では、2017年の23年後の2040年には人口は、6,000人を割り、生産年齢人口と老年人口が同数になると予想されています。



【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】
2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成25年3月公表）に基づく推計値。
【その他の留意点】+

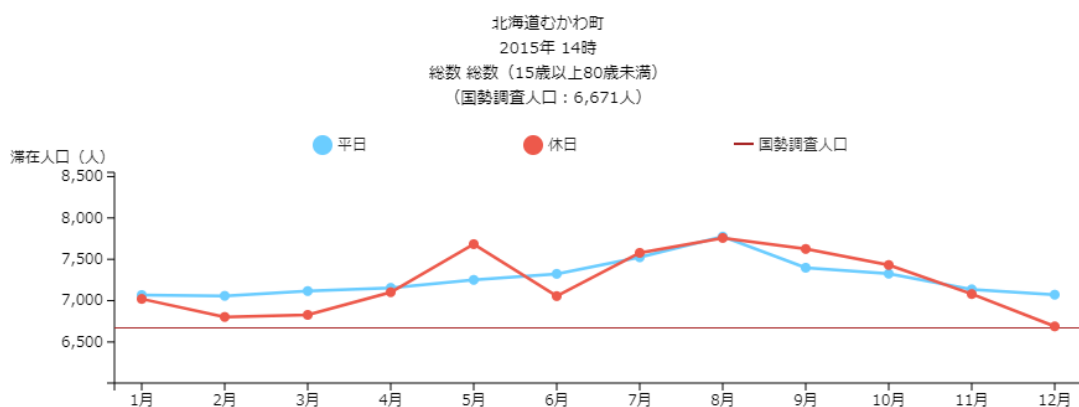
2. むかわ町の滞在人口

平日と休日の滞在人口を比較すると、休日の滞在人口が平日の滞在人口より多い月は5月、9月、10月です。町内居住者が町外へ出かけることや勤務者が会社の休みのために出勤してこないことが理由として予想されます。休日において、町外者の観光等の入込数で、平日からの流失分を補いきれていないようです。

季節的にみると、5月のゴールデンウィーク、夏休み期間に道内の観光客等の動きが活発になることが伺えます。10月に入るとししゃもの漁期であることから、道外の滞在者も目立ちますが、夏の時期の滞在者に及びません。冬季間は人の動きが停滞しています。

※モバイル機器の所有者情報に基づくデータであることに注意。必ずしも勤務通勤者や観光客と限らない。

滞在人口の月別推移



【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「平成27年国勢調査」

【注記】

滞在人口率は、滞在人口（株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」）÷国勢調査人口（総務省「国勢調査」夜間人口）で表される。

滞在人口とは、指定地域の指定時間（4時、10時、14時、20時）に滞在していた人数の月間平均値（平日・休日別）を表している。

平日の滞在人口(2015年 14時)

	4月	8月	10月
町内の人	5,460人	5,292人	5,326人
町外(道内)の人	1,555人	3,442人	2,175人
道外の人	0人	52人	106人
合計	7,015人	8,786人	7,607人

休日の滞在人口(2015年 14時)

	4月	8月	10月
町内の人	5,234人	5,050人	5,061人
町外(道内)の人	1,711人	3,048人	2,192人
道外の人	0人	43人	211人
合計	6,946人	8,141人	7,464人

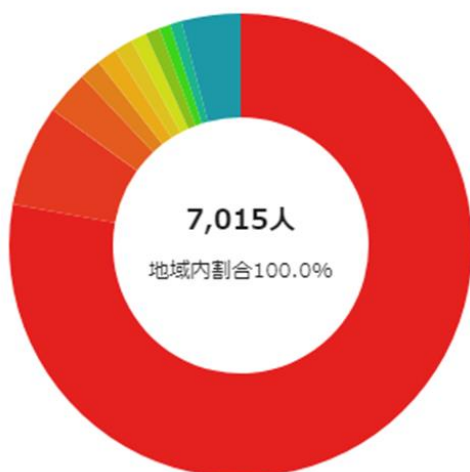
2015年4月平日14時

滞在人口の地域別構成割合 市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年4月 平日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：7,015人 (滞在人口率：1.05倍)

(国勢調査人口：6,671人)



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,460人 (77.8%)
- 2位 北海道苫小牧市 498人 (7.0%)
- 3位 北海道日高町 214人 (3.0%)
- 4位 北海道千歳市 105人 (1.4%)
- 5位 北海道平取町 99人 (1.4%)
- 6位 北海道札幌市厚別区 91人 (1.2%)
- 7位 北海道厚真町 76人 (1.0%)
- 8位 北海道栗山町 70人 (0.9%)
- 9位 北海道北広島市 56人 (0.7%)
- 10位 北海道札幌市東区 56人 (0.7%)
- その他 290人 (4.1%)

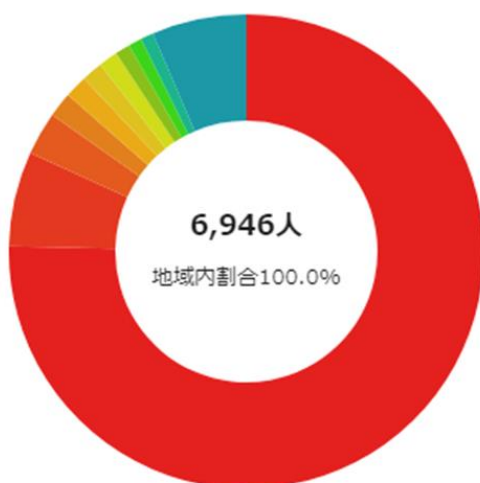
2015年4月休日14時

滞在人口の地域別構成割合 市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年4月 休日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：6,946人 (滞在人口率：1.04倍)

(国勢調査人口：6,671人)



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,235人 (75.3%)
- 2位 北海道苫小牧市 448人 (6.4%)
- 3位 北海道日高町 205人 (2.9%)
- 4位 北海道札幌市中央区 118人 (1.6%)
- 5位 北海道千歳市 108人 (1.5%)
- 6位 北海道平取町 100人 (1.4%)
- 7位 北海道札幌市北区 90人 (1.2%)
- 8位 北海道江別市 70人 (1.0%)
- 9位 北海道浦河町 64人 (0.9%)
- 10位 北海道夕張市 61人 (0.8%)
- その他 447人 (6.4%)

2015年8月平日14時

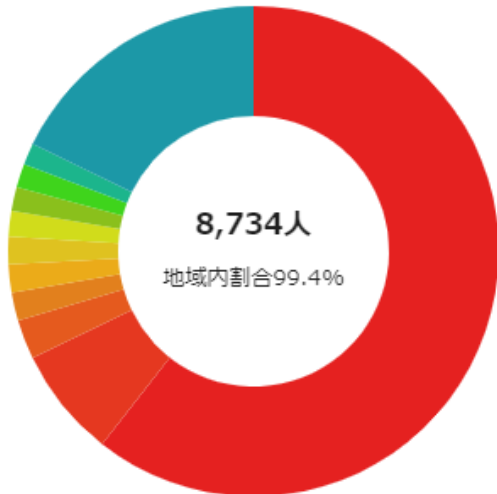
滞在人口の地域別構成割合

市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年8月 平日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：8,786人 (滞在人口率：1.32倍)

(国勢調査人口：6,671人)



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,292人 (60.5%)
- 2位 北海道苫小牧市 633人 (7.2%)
- 3位 北海道日高町 227人 (2.5%)
- 4位 北海道札幌市西区 163人 (1.8%)
- 5位 北海道札幌市豊平区 162人 (1.8%)
- 6位 北海道札幌市白石区 158人 (1.8%)
- 7位 北海道札幌市北区 146人 (1.6%)
- 8位 北海道札幌市東区 138人 (1.5%)
- 9位 北海道札幌市中央区 136人 (1.5%)
- 10位 北海道厚真町 125人 (1.4%)
- その他 1,554人 (17.7%)

2015年8月休日14時

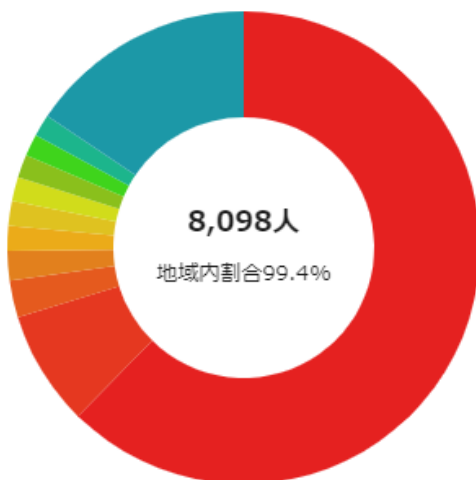
滞在人口の地域別構成割合

市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年8月 休日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：8,141人 (滞在人口率：1.22倍)

(国勢調査人口：6,671人)



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,050人 (62.3%)
- 2位 北海道苫小牧市 637人 (7.8%)
- 3位 北海道日高町 205人 (2.5%)
- 4位 北海道札幌市豊平区 163人 (2.0%)
- 5位 北海道札幌市白石区 138人 (1.7%)
- 6位 北海道札幌市北区 138人 (1.7%)
- 7位 北海道千歳市 133人 (1.6%)
- 8位 北海道札幌市東区 127人 (1.5%)
- 9位 北海道札幌市南区 122人 (1.5%)
- 10位 北海道札幌市西区 121人 (1.4%)
- その他 1,264人 (15.6%)

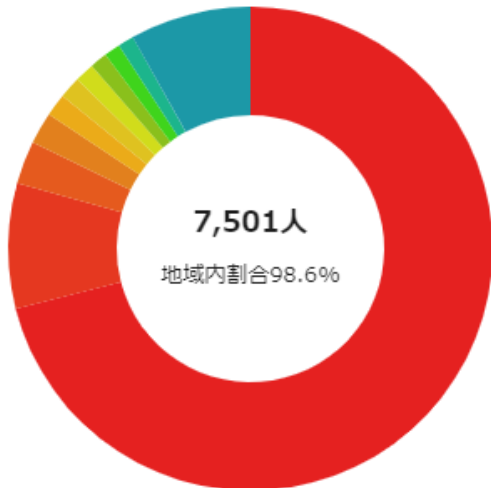
2015年10月平日14時

滞在人口の地域別構成割合
市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年10月 平日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：7,607人 (滞在人口率：1.14倍)

(国勢調査人口：6,671人)



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,326人 (71.0%)
- 2位 北海道苫小牧市 627人 (8.3%)
- 3位 北海道日高町 216人 (2.8%)
- 4位 北海道岩見沢市 160人 (2.1%)
- 5位 北海道平取町 113人 (1.5%)
- 6位 北海道千歳市 109人 (1.4%)
- 7位 北海道厚真町 98人 (1.3%)
- 8位 北海道札幌市手稲区 86人 (1.1%)
- 9位 北海道札幌市白石区 81人 (1.0%)
- 10位 北海道札幌市東区 80人 (1.0%)
- その他 605人 (8.0%)

滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 福島県郡山市 32人 (30.1%)
- 2位 東京都足立区 16人 (15.0%)
- 3位 千葉県印西市 16人 (15.0%)
- 4位 埼玉県所沢市 16人 (15.0%)
- 5位 福島県南会津町 16人 (15.0%)
- 6位 青森県八戸市 10人 (9.4%)

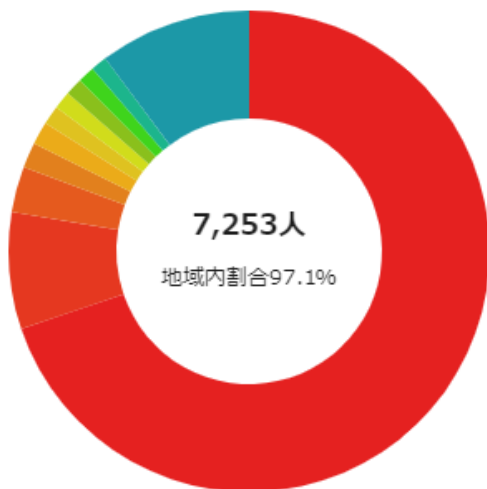
2015年10月休日14時

滞在人口の地域別構成割合
市区町村 → 市区町村

北海道むかわ町
2015年10月 休日 14時
総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計：7,464人 (滞在人口率：1.12倍)

(国勢調査人口：6,671人)



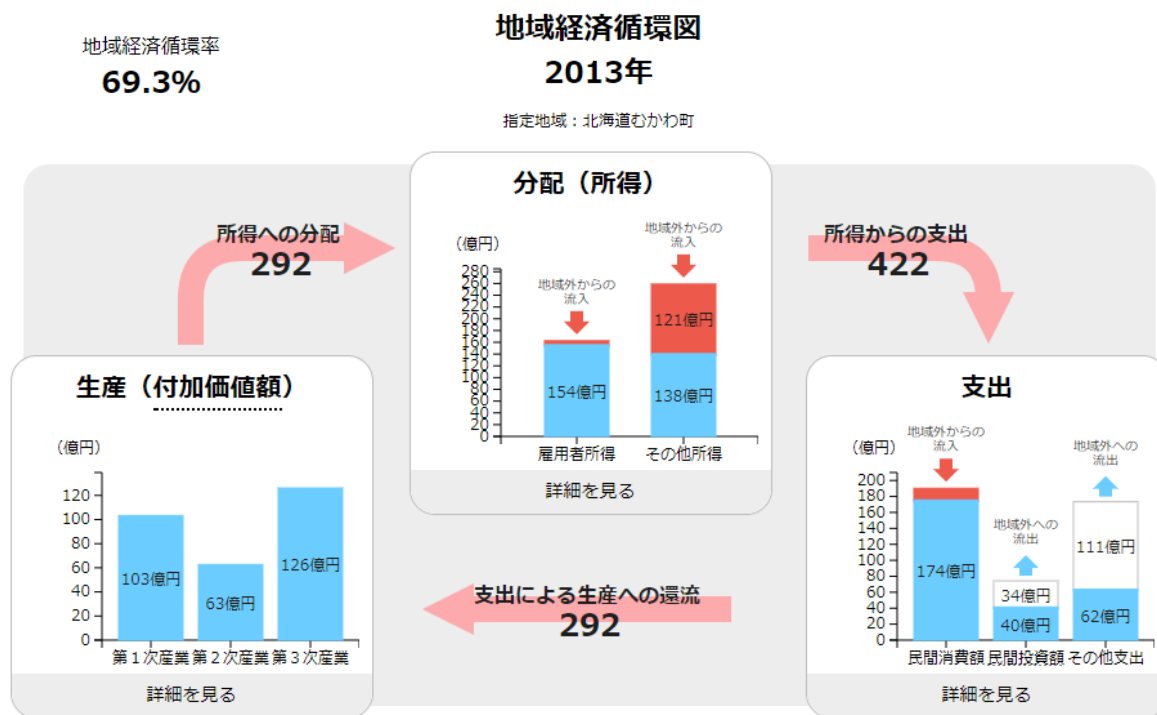
滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 北海道むかわ町 5,061人 (69.7%)
- 2位 北海道苫小牧市 568人 (7.8%)
- 3位 北海道日高町 224人 (3.0%)
- 4位 北海道千歳市 124人 (1.7%)
- 5位 北海道平取町 111人 (1.5%)
- 6位 北海道札幌市東区 93人 (1.2%)
- 7位 北海道札幌市北区 87人 (1.1%)
- 8位 北海道芽室町 85人 (1.1%)
- 9位 北海道札幌市豊平区 82人 (1.1%)
- 10位 北海道旭川市 78人 (1.0%)
- その他 740人 (10.2%)

滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府大阪市鶴見区 20人 (9.4%)
- 2位 香川県高松市 19人 (9.0%)
- 3位 兵庫県加古川市 19人 (9.0%)
- 4位 長野県長野市 19人 (9.0%)
- 5位 神奈川県綾瀬市 19人 (9.0%)
- 6位 東京都江戸川区 19人 (9.0%)
- 7位 福島県南会津町 15人 (7.1%)
- 8位 宮城県日南市 11人 (5.2%)
- 9位 沖縄県石垣市 10人 (4.7%)
- 10位 福岡県北九州市八幡西区 10人 (4.7%)
- その他 50人 (23.6%)

3. 地域経済の流れ



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

	雇用者所得流出入額	民間消費流出入額
むかわ町	+9 億円	+16 億円
安平町	▲18 億円	+12 億円
厚真町	▲27 億円	▲41 億円
平取町	▲3 億円	▲14 億円
日高町	0 億円	7 億円
苫小牧市	▲48 億円	▲74 億円

(1) 生産(付加価値額)の分析

生産面の指標として「付加価値額」(GDP)を用いており、「付加価値額」は、企業で言えば粗利益の部分で「もうけ」の総額を示しています。

この分析によって、地域の経済面を生産面で支えている産業が何か、各産業の労働生産性はどの程度で他地域と比べ優位といえるかが把握できます。

むかわ町の場合、第3次産業が126億円の付加価値を生産、第1次産業は103億円、第2次産業は63億円となっています。

従業者一人当たりの付加価値額(労働生産性)では、第3次産業は501万円で、全国1,719市区町村中1,647位で優位に立っているとは言えません。第1次産業では、同じく398万円で、231位、第2次産業は822万円で692位となっています。

第1次産業: 農林・水産

第2次産業: 製造・鉱業・建設業

第3次産業: 運輸・商業・サービス・行政

(2) 分配(所得)の分析

雇用者所得とは労働の対価として受け取る賃金や給料等です。むかわ町居住者が町内で得る雇用者所得が、154億円で、他地域で勤務して得る雇用者所得が9億円となっています。つまり9億円の雇用者所得がむかわ町へ流入していることになります。

その他の所得とは、雇用者所得以外の所得で、財産所得・企業所得・交付税・社会保障給付・補助金等です。むかわ町の場合、生産(付加価値)で得られたものから、138億円の財産所得、企業所得等のその他所得となっています。その他所得では、121億円が地域外から流入しており、交付税や社会保障給付、補助金等が主ではないかと考えられます。

所得(一人当たり)は、278万円で全国1,719市区町村中1,667位であり、地方創世の実現によって、この金額が増加することが成果の一つと考えられています。

(3) 支出の分析

むかわ町での民間消費額は、190億円で、その内16億円が他地域から流入しています。民間投資額では、74億円ありますがその内34億円が他地域へ流出しています。町や国の出先機関からの発注額を含むその他支出は、173億円でその内111億円が地域外へ流出しています。

民間消費では、9.3%の流入があり良好ですが、民間投資、その他の支出がそれぞれ、46.3%、64.2%と他地域へ支出されています。

地域で稼ぎ、地域で得た所得が他地域へ流れることは、地域の企業の新たな生産販売活動へ繋がらず、地域の経済循環がうまく機能していない可能性があります。地域が地域外の消費、投資をより多く受け止め、稼ぐ力を付けて、付加価値を高めることが重要と言われています。

(4) 全体として循環図の分析

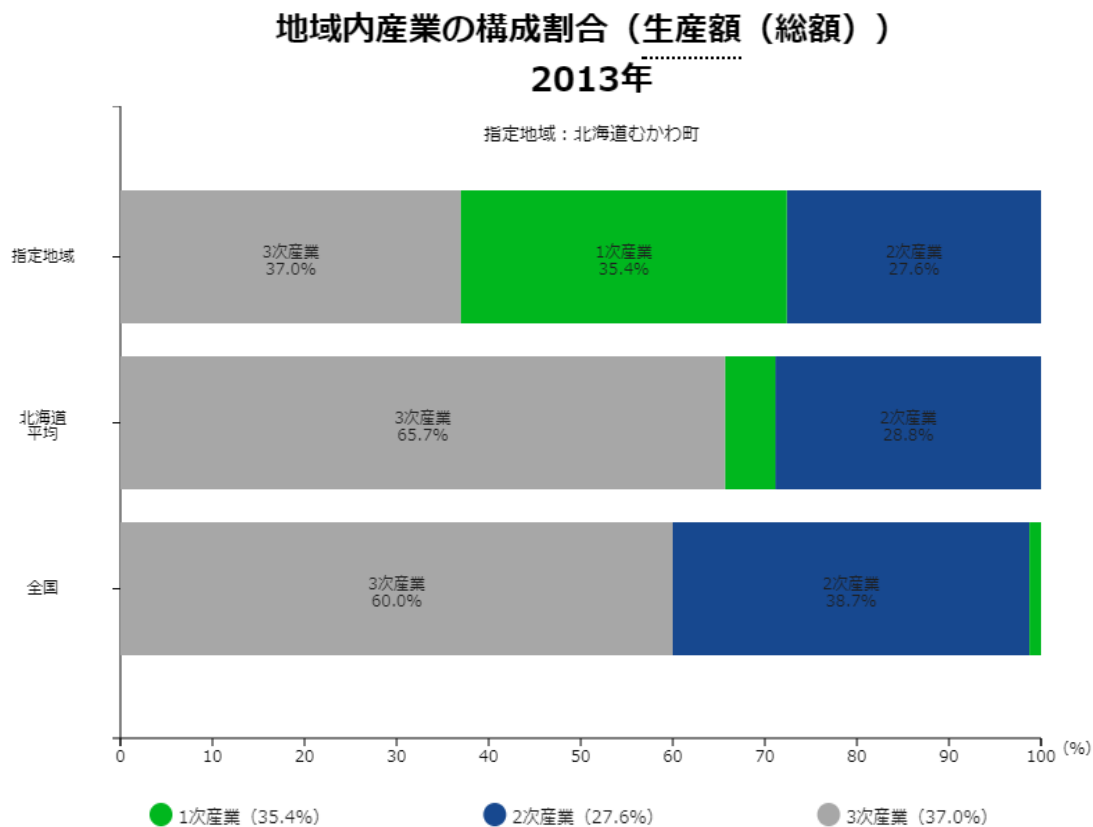
生産(付加価値額)からスタートして考えた場合、全産業で292億円の付加価値が生産され、292億円が、所得へ分配されています。地域の所得は、地域の付加価値額292億円に他地域から流入した130億円を加え422億円となり、それが支出へ向かっています。支出では、422億円へ

他地域からの民間投資へ9億円の流入があり437億円の支出額となっています。その内145億円が他地域へ流出し、292億円がむかわ町内へ支出されています。(町内への支出額=町内での生産額となり、サイクル完了)

地域経済循環率は、「生産(付加価値額)÷分配(所得)」により算出され、地域内で生み出された所得がどの程度域内に還流しているかを把握するもので、自治体ごとの特徴を表すものです。

	地域経済循環率
むかわ町	69.3%
厚真町	88.4%
安平町	78.1%
日高町	70.1%
平取町	64.9%
苫小牧市	106.3%

4. むかわ町内の産業構造



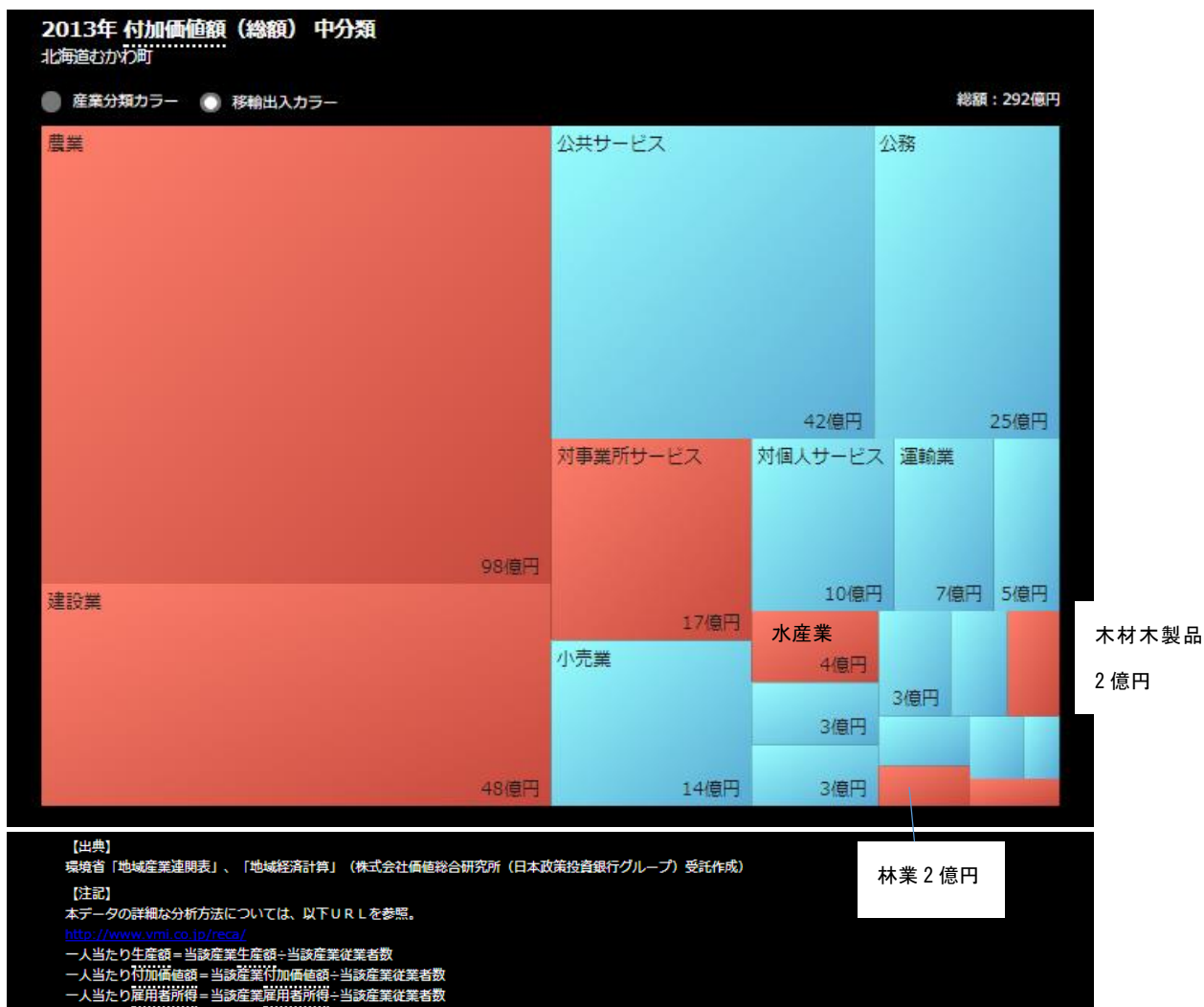
生産額の面から、2013年の町内産業の構成割合を示したものです。むかわ町では、3次産業が37.0%、1次産業が35.4%、2次産業が27.6%の構成割合となっています。全道平均と比較すると3次産業の割合が少なく、1次産業の割合が多いことがわかります。

第1次産業：農林・水産

第2次産業：製造・鉱業・建設業

第3次産業：運輸・商業・サービス・行政

5. 生産分析（移輸出入収支）2013年



2013年のむかわ町における付加価値額（総額）に移輸出入収支を加味した図です。移輸出入収支額がプラスになっている産業は赤色で表示され、マイナスの産業は青色で表示されています。移輸出入収支額がプラスになっている産業とは、地域外からお金を稼いでいる産業ということです。

付加価値額（総額）の多い産業は、農業 98 億円、建設業 48 億円、公共サービス 42 億円が町内の大きな産業となっています。

移輸出入収支額がプラスになっている産業は、農業 98 億円、建設業 48 億円、対事業所サービス 17 億円、水産業 4 億円、木材・木製品と林業が 2 億円の付加価値額（総額）となっています。

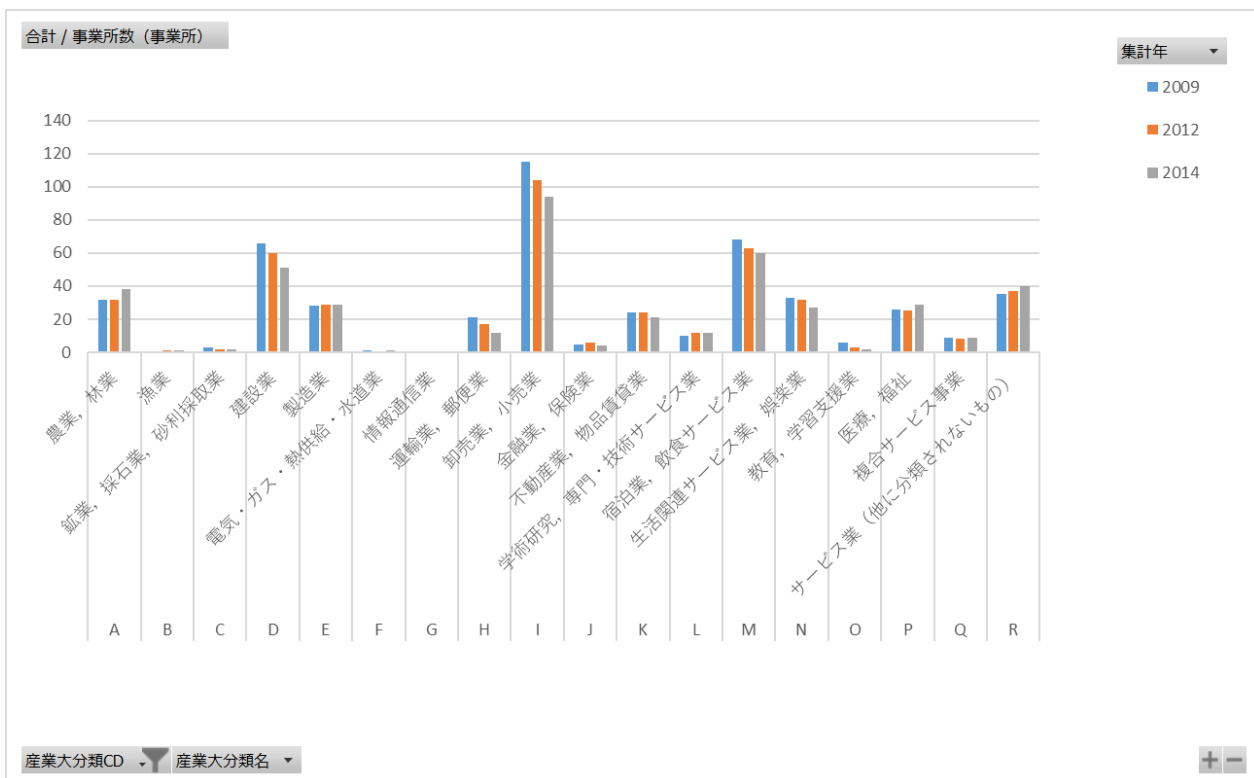
農業、建設業が付加価値額（総額）の多く、移輸出入収支額がプラスになっており、地域の外からお金を稼いでいる産業ということになります。

※対事業所サービス: 卸売・倉庫・貨物運送・修理・銀行・リース・レンタル・広告業など

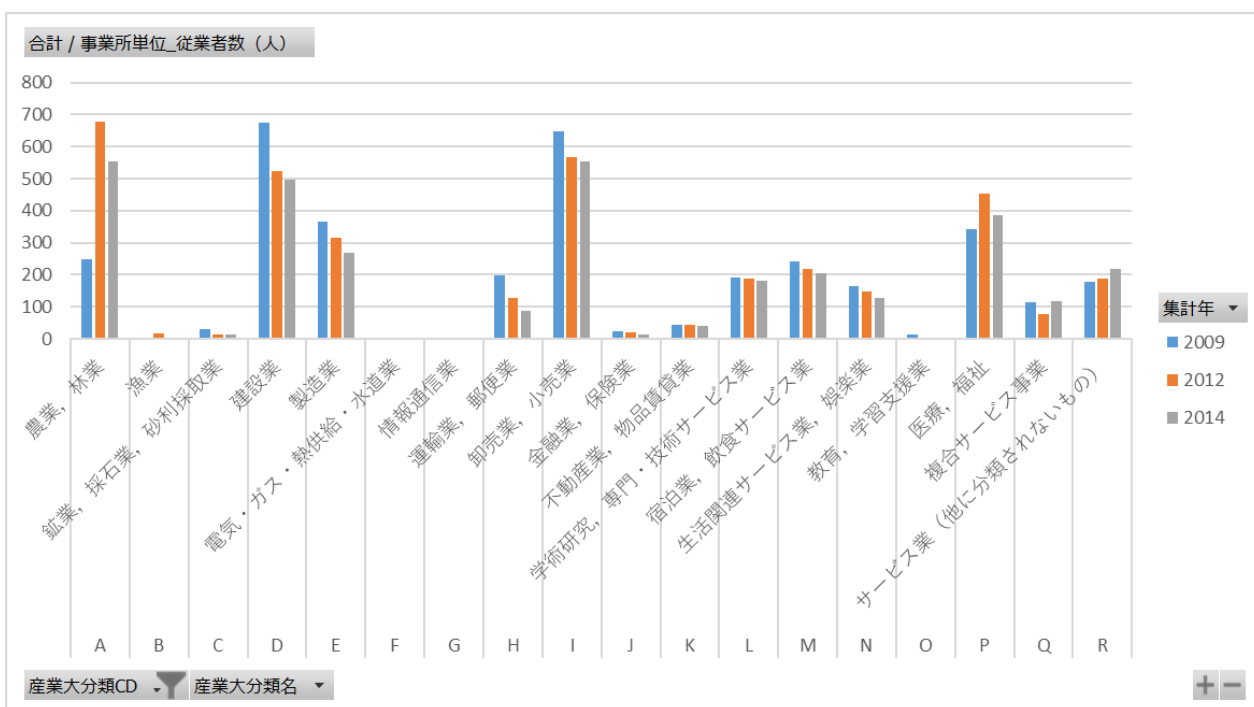
※対個人サービス: 小売・飲食・旅客運送・ホテル旅館・理美容・医療・教育など

6. 地域産業の構成

(1) 事業所数



(2) 従業員数



(1)事業所数

むかわ町内の事業所数の多い業種は、卸・小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業となっています。多くの業種で事業所数は減少しています。横這いの傾向が見られるのは、製造業です。事業所の増加傾向にある業種は、農業・林業、医療・福祉、サービス業(他に分類されないもの)です。

(2)従業員数

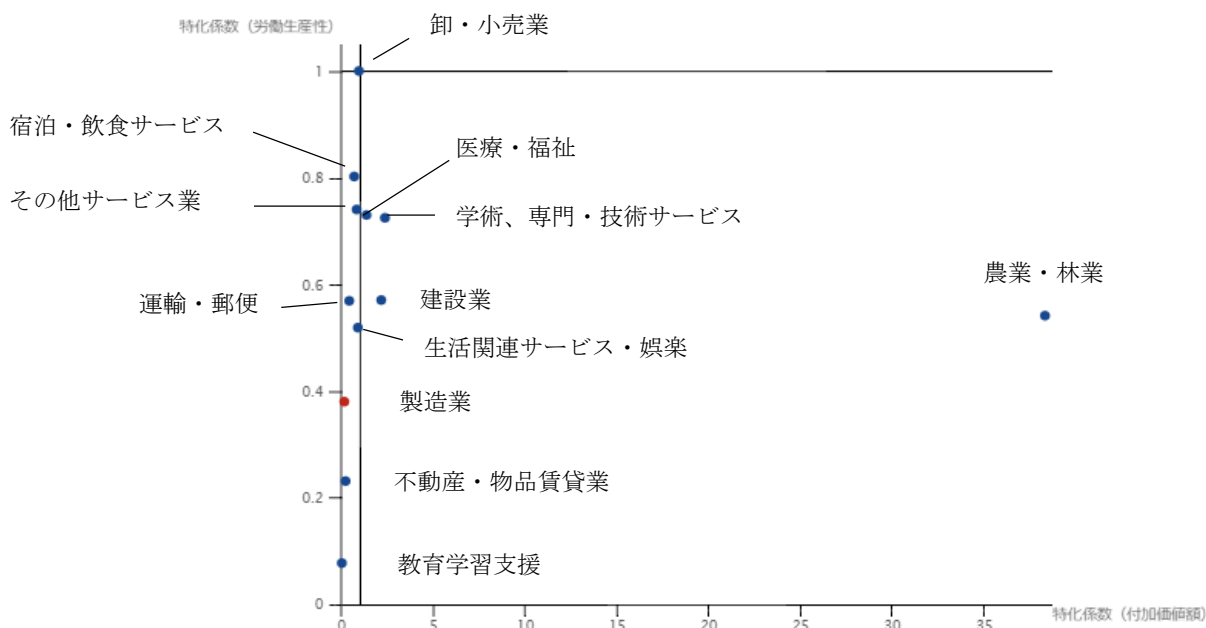
従業員数でみると、農業・林業、建設業、卸小売業、医療・福祉業、製造業が多いですが、従業員数は減少傾向です。サービス業(他に分類されないもの)が唯一、従業員数が増えています。

※ サービス業(他に分類されないもの):廃棄物処理業、自動車整備業、機械修理業、警備業、宗教、団体など

7. 地域産業の強みの把握

(1) 特化係数（付加価値額） x 特化係数（労働生産性） 2012年

指定地域：北海道むかわ町



【出典】

総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】

特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。

労働生産性 = 付加価値額（企業単位） ÷ 従業者数（企業単位）

特化係数とは、全国と同業者との比率と比較したもので、1.0を超えていれば全国に比べて特化しているということになります。

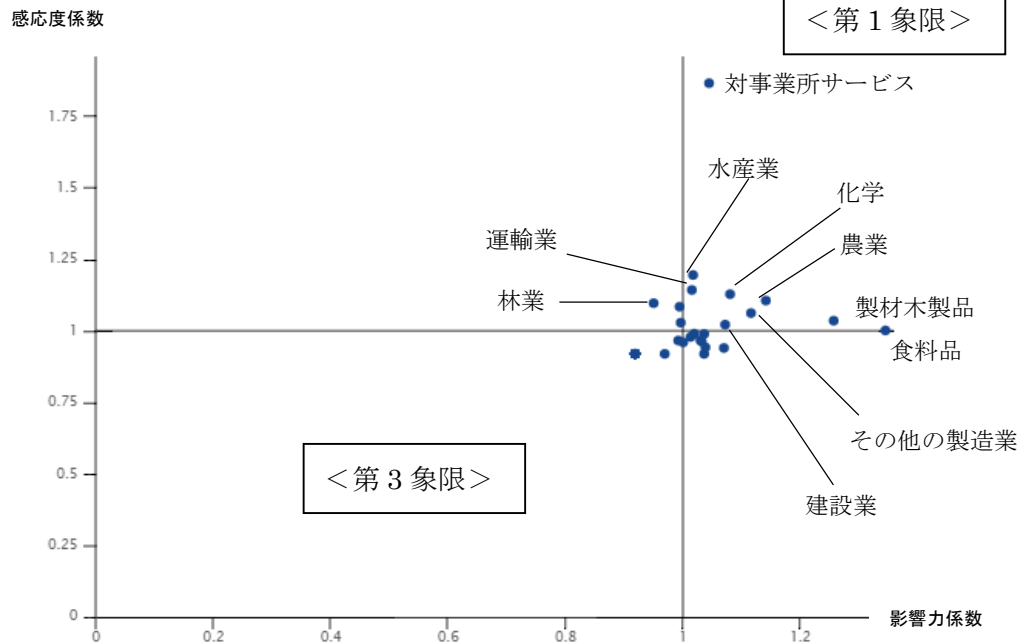
労働生産性では、卸・小売業で全国同業者と同位で、その他の業種では全国同業者より悪いです。

付加価値額では、農業・林業と建設業が全国と比べ特化している産業とされ、稼ぐ力が高いということになります。

(2) 影響力・感応度分析 (産業別) 2013年

指定地域：北海道むかわ町

指定産業：すべての大分類>すべての中分類



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「影響力係数」とは、当該産業に対する新たな需要が、全産業(調達先)に与える影響の強さを示す。

「感応度係数」とは、全産業に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さを示す。

地域の中核となっている産業を把握するための表です。

グラフの横軸の影響力係数は、当該産業に対する新たな需要が、全産業(調達先)に与える影響の強さを示し、数字が大きいほど、その産業の調達先が地域内に多いということになります。

影響力係数の大きな産業は、食料品、製材木製品、農業であり、その産業の調達先が地域内で大きく、新たな需要が調達先に与える影響が強いということになります。

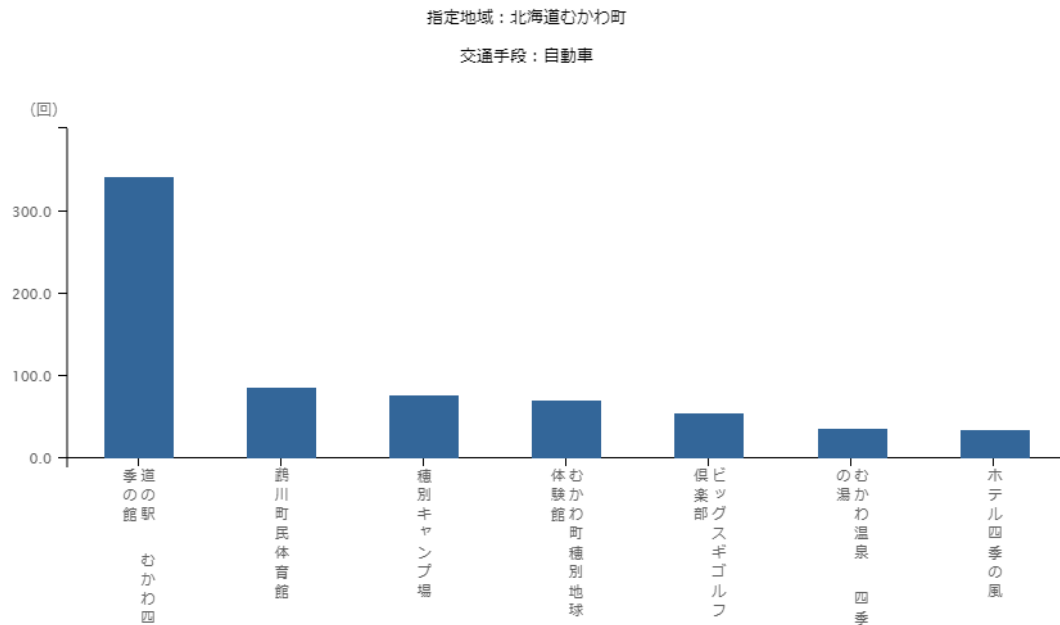
グラフの縦軸の感応度係数は、全産業(販売先)に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さを示し、数値が大きいほど、その産業の販売先が地域内に多いということになります。

感応度係数の高屋産業は、対事業所サービス、水産業、運輸業であり、販売先に対する新たな需要により影響を受ける産業ということになります。

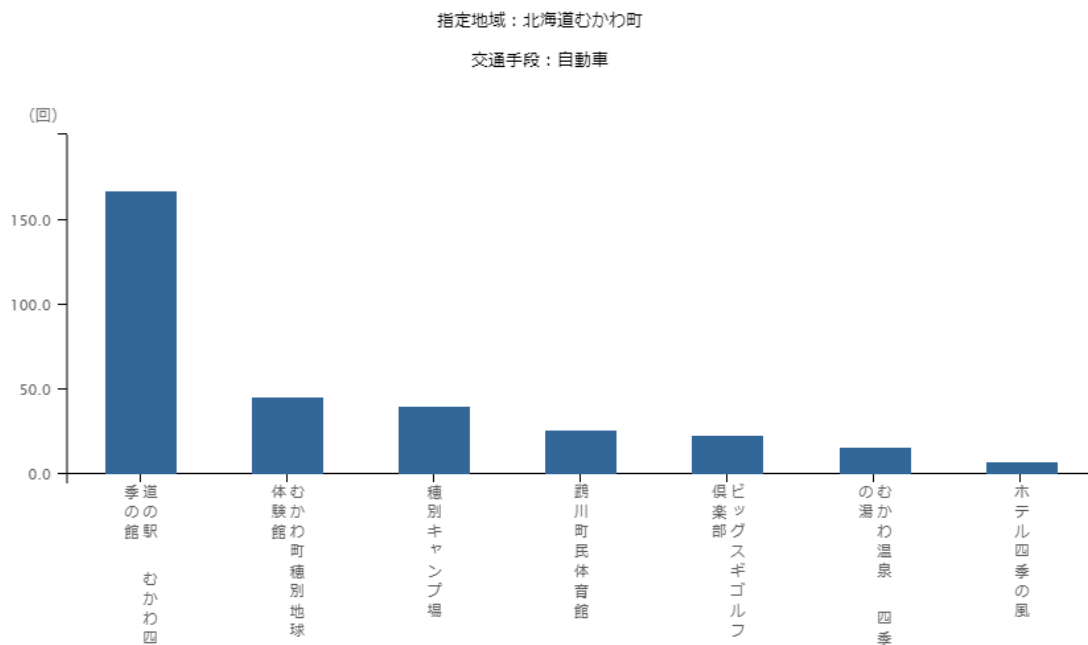
また、<第1象限>にある産業群は、産業間の取引構造からみて地域の中核となっている産業群であり、<第3象限>の産業群は、経済波及効果が低い産業群ということになります。

8. 町内観光スポットの検索数

2015年すべての期間（平日）



2015年すべての期間（休日）



道の駅、地球体験館、穂別キャンプ場への検索が多く、当町内での関心の高い施設と言えると考えられます。

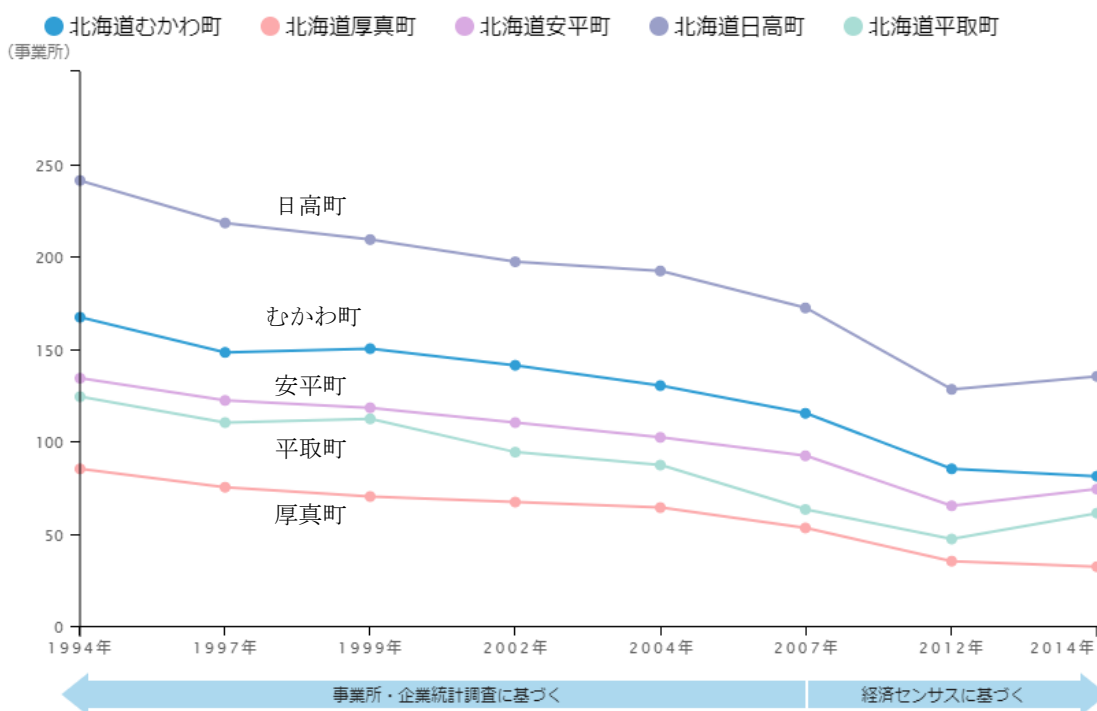
9. 各産業の状況

(1) 商業の状況

(1) 事業所数（実数）の推移

北海道むかわ町

産業：すべての大分類>すべての中分類>すべての小分類



【出典】

経済産業省「商業統計調査」

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

【注記】

「2012年」以降の数値は「平成24年経済センサス-活動調査」、「2007年」以前の数値は「商業統計調査」を基にしているため、「2012年」以降の数値は「2007年」以前の数値と接続しない。

「商業統計調査」該当年において、従業者数は「有給役員」「常用雇用人（正社員・正職員・パート・アルバイトなど）」「個人業主」「無給家族従業者」の合計。売場面積の数値は小売業のみ。産業分類については、日本標準産業分類の改訂を踏まえ、データ掲載期間において共通の業種分類となるよう、業種分類間の調整を行っている。業種分類は、平成26年商業統計調査における業種分類表を参考に、専門分野ごとに整理した10分類を利用している。1999年調査においては業種別集計が公表されていない。

事業所数の推移(実数)

単位：事業所

	1994年(H6)	2004年(H16)	2007年(H19)	2012年(H24)	2014年(H26)
むかわ町	167	130	115	85	81
厚真町	85	64	53	35	32
安平町	134	102	92	65	74
日高町	241	192	172	128	135
平取町	124	87	63	47	61

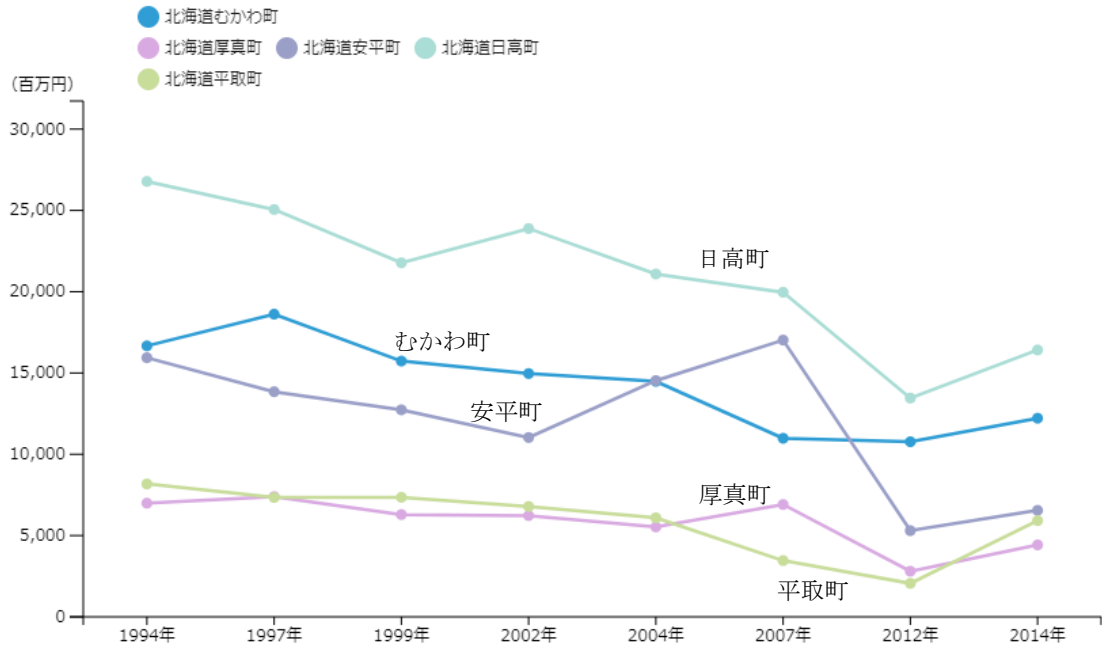
むかわ町の業種別事業所数（H26年経済センサスより）

業 種	事業所数
織物・衣服・身の回り品小売業	4
飲食料品小売業	25
機械器具小売業	11
その他の小売業（燃料、書籍文具、医療品・化粧品等）	41
合 計	81

むかわ町の商業の事業所数は減少傾向にあります。他地域では、厚真町が減少傾向にあり、安平町、日高町、平取町は、H24年からH26年にかけて、事業所数は増加しています。

(2) 年間商品販売額

産業：すべての大分類 > すべての中分類



【出典】

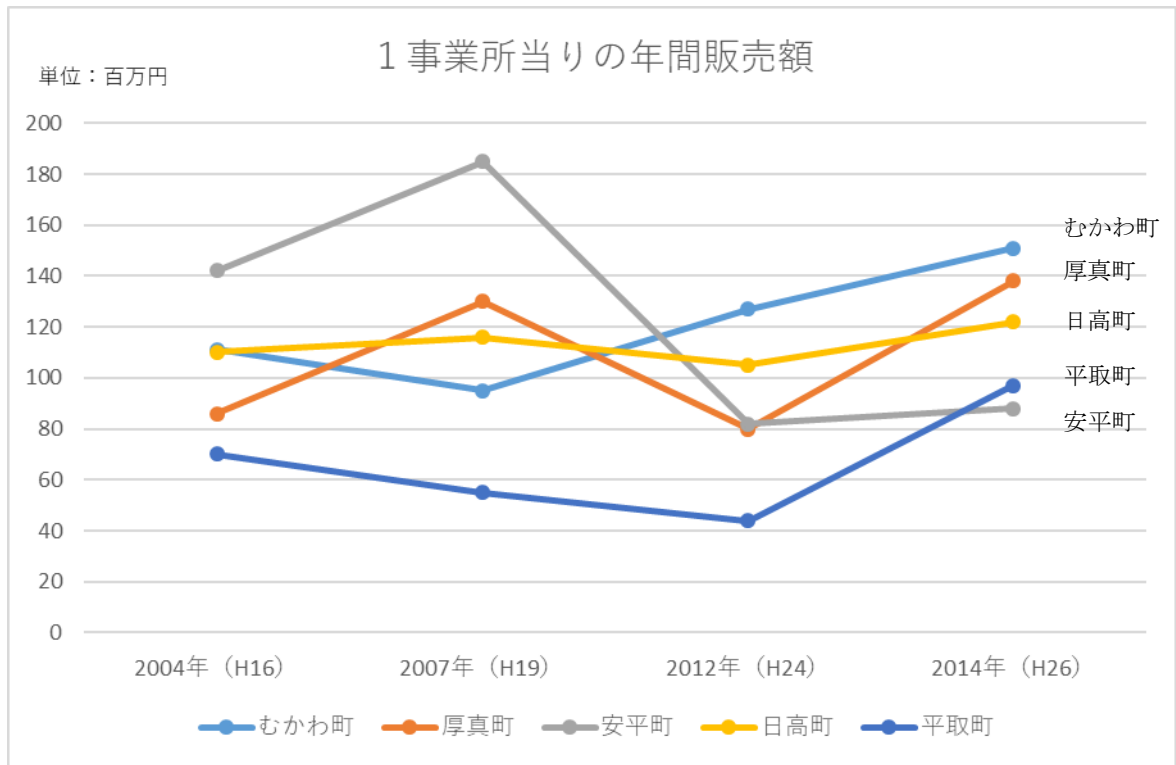
経済産業省「商業統計調査」

単位：百万円

	1994年(H6)	2004年(H16)	2007年(H19)	2012年(H24)	2014年(H26)
むかわ町	16,669	14,485	10,982	10,770	12,218
厚真町	6,992	5,529	6,909	2,805	4,425
安平町	15,940	14,530	17,023	5,301	6,548
日高町	26,784	21,088	19,965	13,456	16,415
平取町	8,173	6,091	3,460	2,059	5,920

H24年からH26年にかけて、むかわ町をはじめ、近隣地域では商品の年間販売額が増加しています。

(3) 1事業所当たりの年間販売額の推移



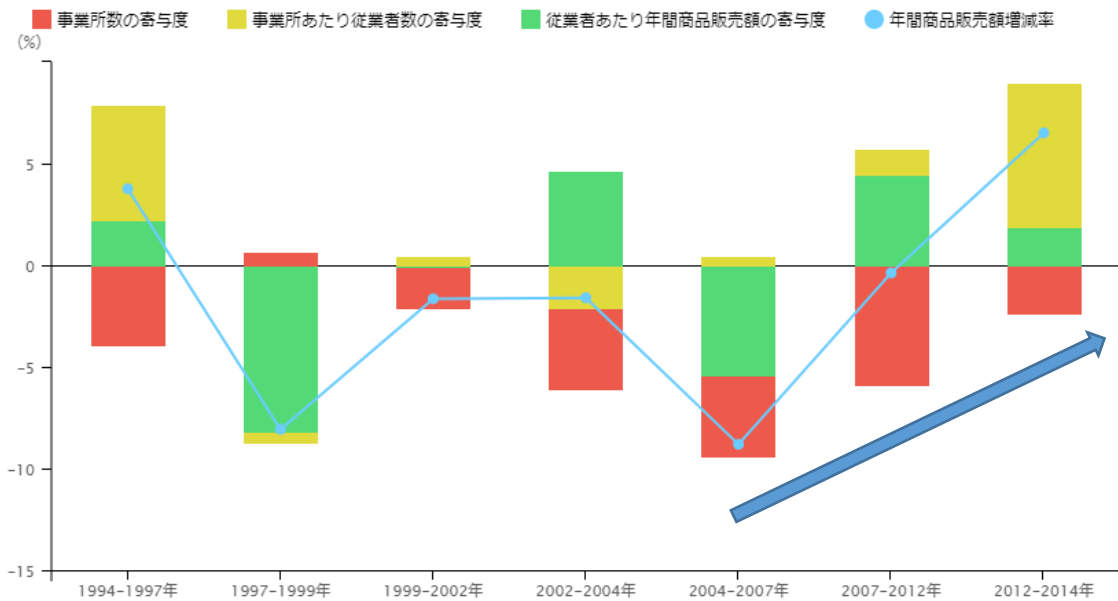
単位：百万円

	2004年 (H16)	2007年 (H19)	2012年 (H24)	2014年 (H26)
むかわ町	111	95	127	151
厚真町	86	130	80	138
安平町	142	185	82	88
日高町	109	116	105	122
平取町	70	55	44	97

むかわ町は、事業所の減少傾向の中、年間販売額が伸びていることから、1事業所当たりの販売額が大きく増加しています。厚真町も事業所数が減少の中、年間販売額が増加しているため、1事業所当たりの販売額の伸びが目立っています。

(4) 年間商品販売額増減率の要因分析

北海道むかわ町
産業：すべての大分類>すべての中分類



【出典】

経済産業省「商業統計調査」

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

【注記】

「2012年」以降の数値は「平成24年経済センサス-活動調査」、「2007年」以前の数値は「商業統計調査」を基にしているため、「2012年」以降の数値は「2007年」以前の数値と接続しない。

「商業統計調査」該当年において、従業員数は「有給役員」「常用雇用者（正社員・正職員・パート・アルバイトなど）」「個人業主」「無給家族従業員」の合計。売場面積の数値は小売業のみ。産業分類については、日本標準産業分類の改訂を踏まえ、データ掲載期間において共通の業種分類となるよう、業種分類間の調整を行っている。業種分類は、平成26年商業統計調査における業種分類表を参考に、専門分野ごとに整理した10分類を利用している。1999年調査においては業種別集計が公表されていない。

「従業員数を用いた結果」については

年間商品販売額 = 事業所数 × (従業員数 ÷ 事業所数) × (年間商品販売額 ÷ 従業員数)

= 事業所数 × 1 事業所あたり従業員数 × 従業員 1 人あたり年間商品販売額 として、

年間商品販売額増減率 = 事業所数変化率 + 1 事業所あたり従業員数の変化率 + 従業員 1 人あたり年間商品販売額の変化率 とした。

「売場面積を用いた結果」については

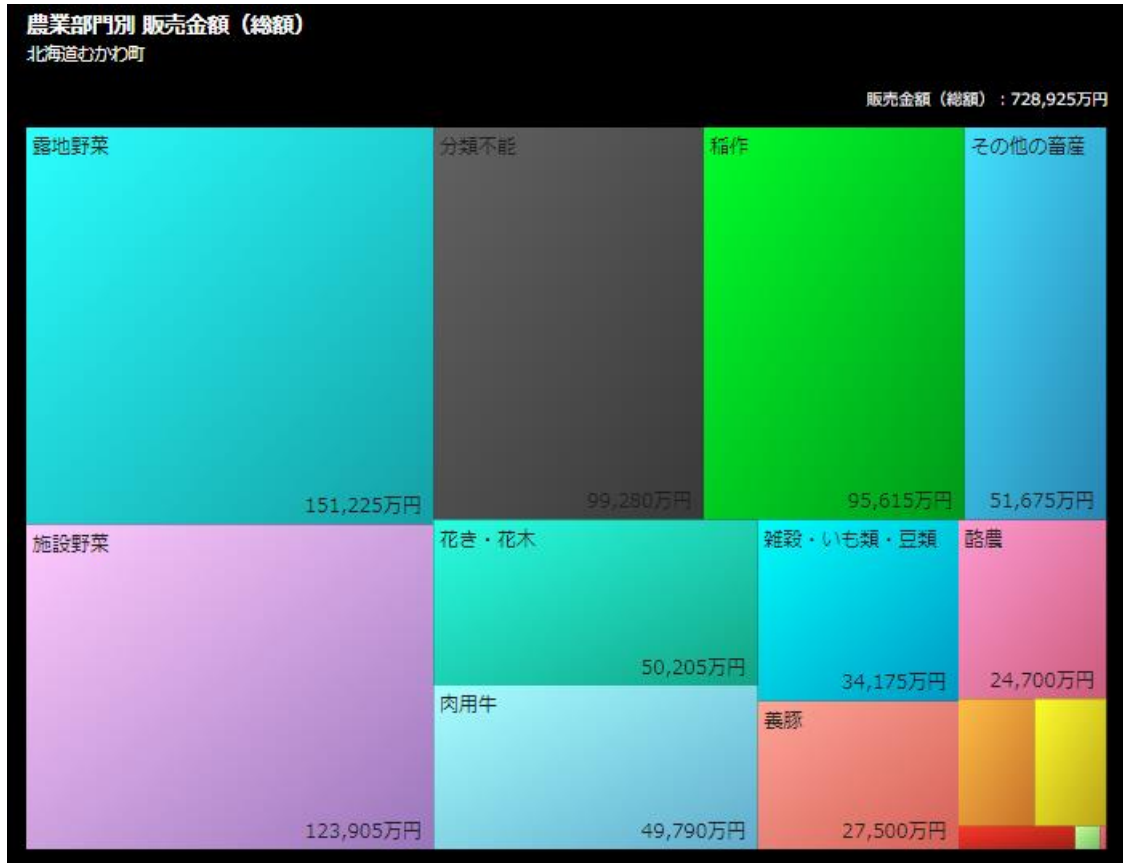
年間商品販売額 = 事業所数 × 1 事業所あたり売場面積 × 売場面積あたり年間商品販売額 として、

年間商品販売額増減率 = 事業所数変化率 + 1 事業所あたり売場面積の変化率 + 売場面積あたり年間商品販売額の変化率 とした。

むかわ町の年間販売額の増加要因は、事業所数が減少している中、従業員数の増加による寄与度が高いことから、年間販売額の増加は町内大型店による影響が大きいと推察されます。

(2) 農業の状況

販売金額 2010年



【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

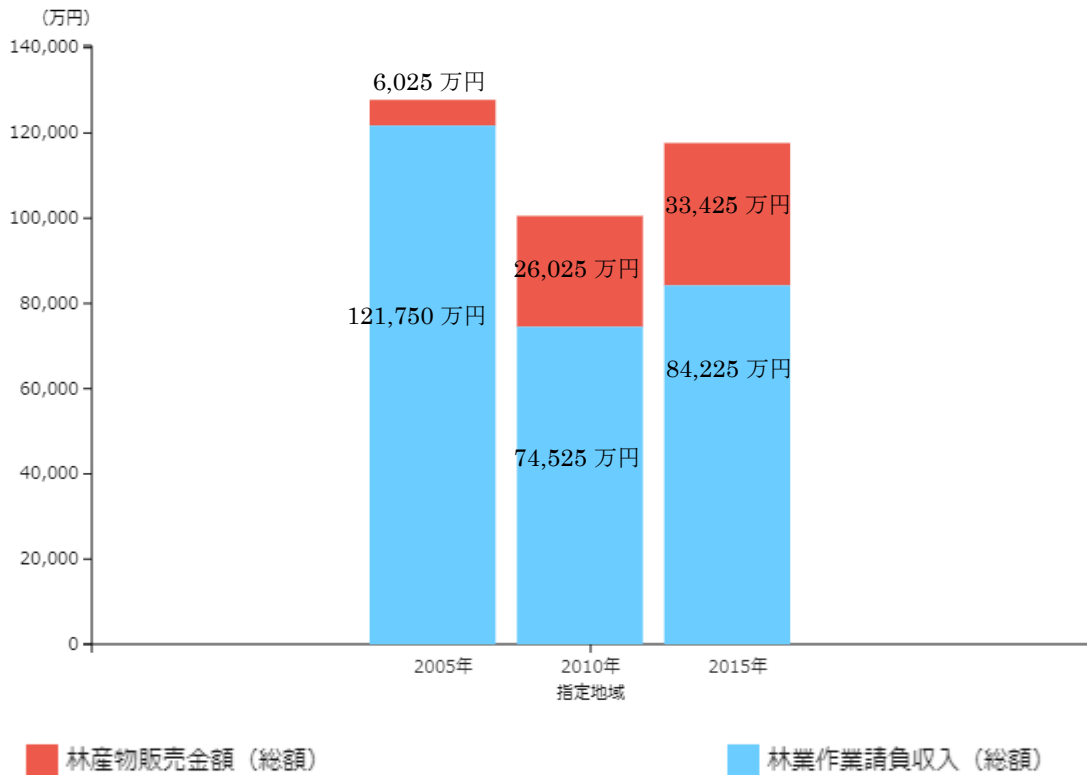
【注記】
農産物の販売金額は、下式による推計値。
販売金額 = \sum (各階層中位数 × 各階層経営体数)
経営体：販売のあった経営体
農業部門：農林業センサスの部門分類に農作業請負収入を追加。
旧市区町村とは、1950年（昭和25年）当時の市区町村。

JA むかわのホームページによると「明治 26 年から米づくりが始まり米単作地帯でしたが、米の需給の不均衡に伴う生産調整により、畑作物・野菜・花き・肉牛などを取り入れた複合経営へと変化しています。」とあり、そのことは、農業部門別販売額の図からも伺えます。

(3) 林業の状況

(1) 林業総収入（総額）

指定地域：北海道むかわ町



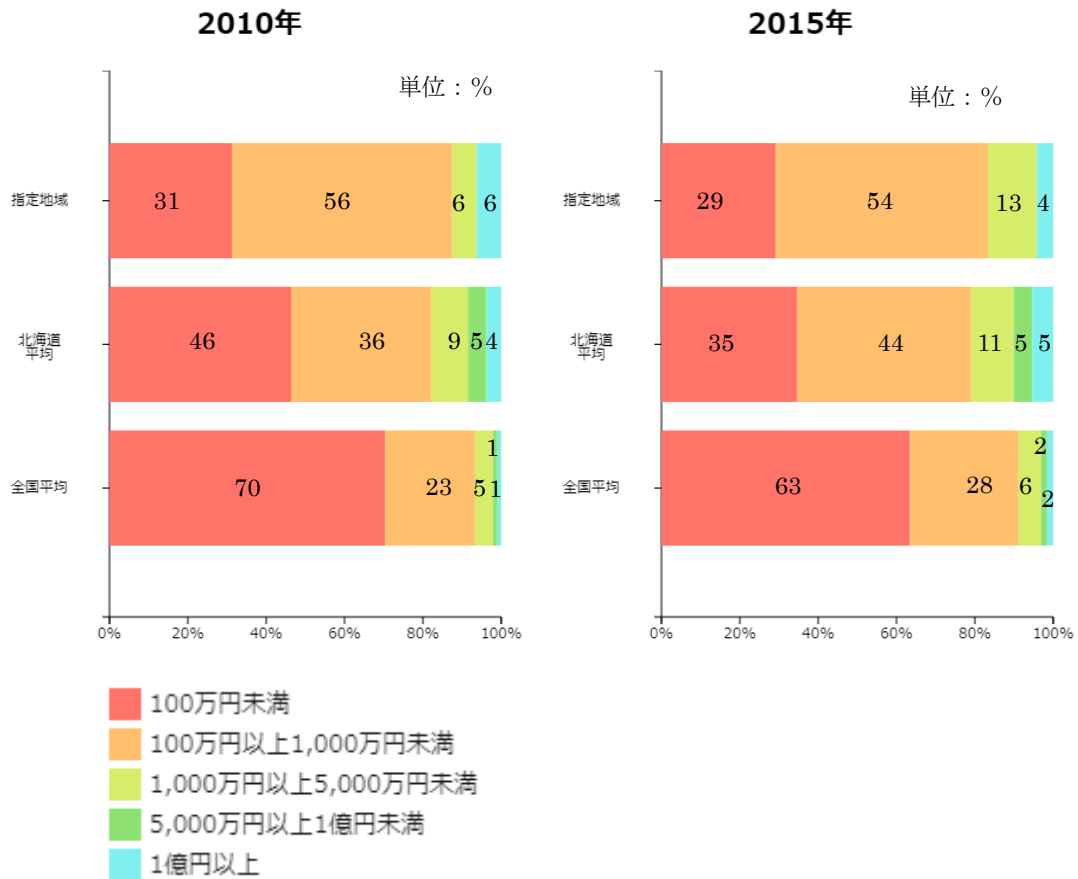
【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
販売金額＝Σ（各階層中位数×各階層経営体数）-農林業センサス「販売金額規模別経営体数」。最上位層の中位数は、7億円として推計
林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。
合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は合算結果に反映されない。

林業総収入額は、2010年と2015年を比較すると増加しています。その中で、林産物販売金額は増加傾向が見られます。

(2) 林産物販売金額帯別の経営体の割合

指定地域：北海道むかわ町



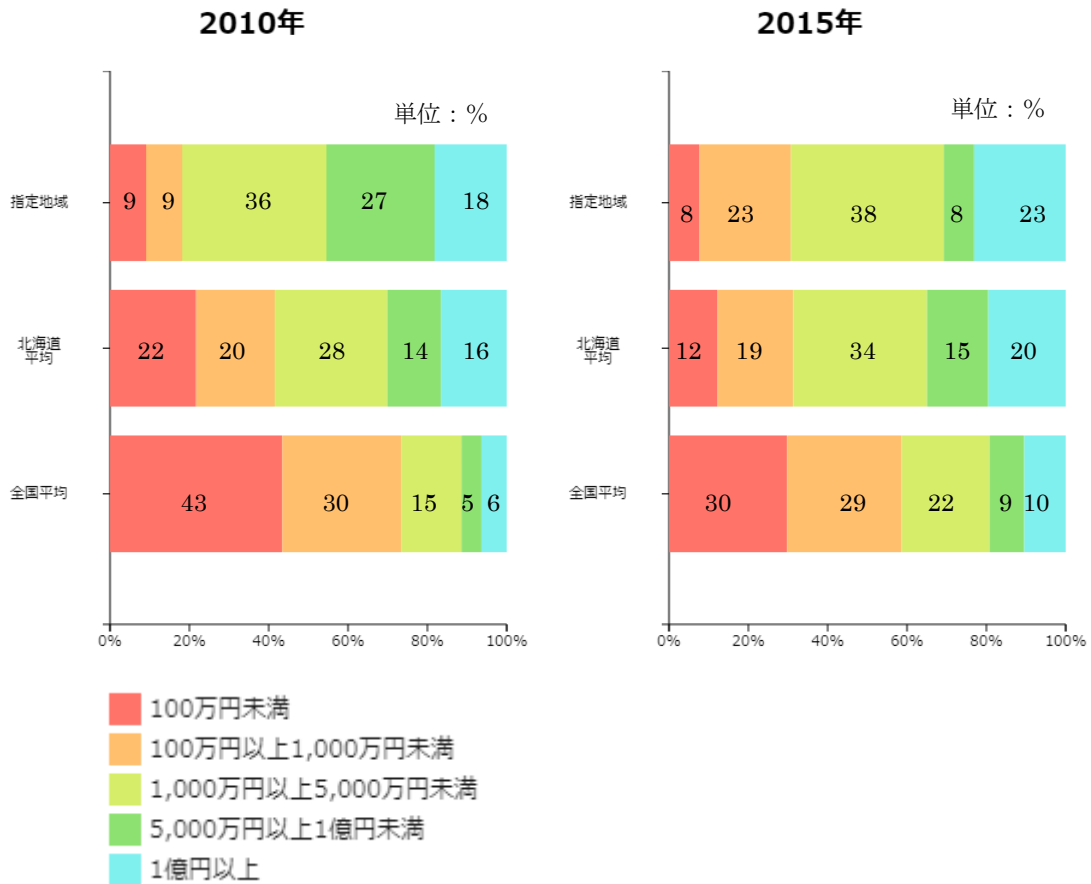
【注記】

販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数)-農林業センサス「販売金額規模別経営体数」。最上位層の中位数は、7億円として推計
 林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。
 合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は合算結果に反映されない。

林産物販売価格帯をみると、100万円以上の販売価格帯が全道平均より多く占めています。

(3) 林業作業請負収入金額帯別の経営体の割合

指定地域：北海道むかわ町



【注記】

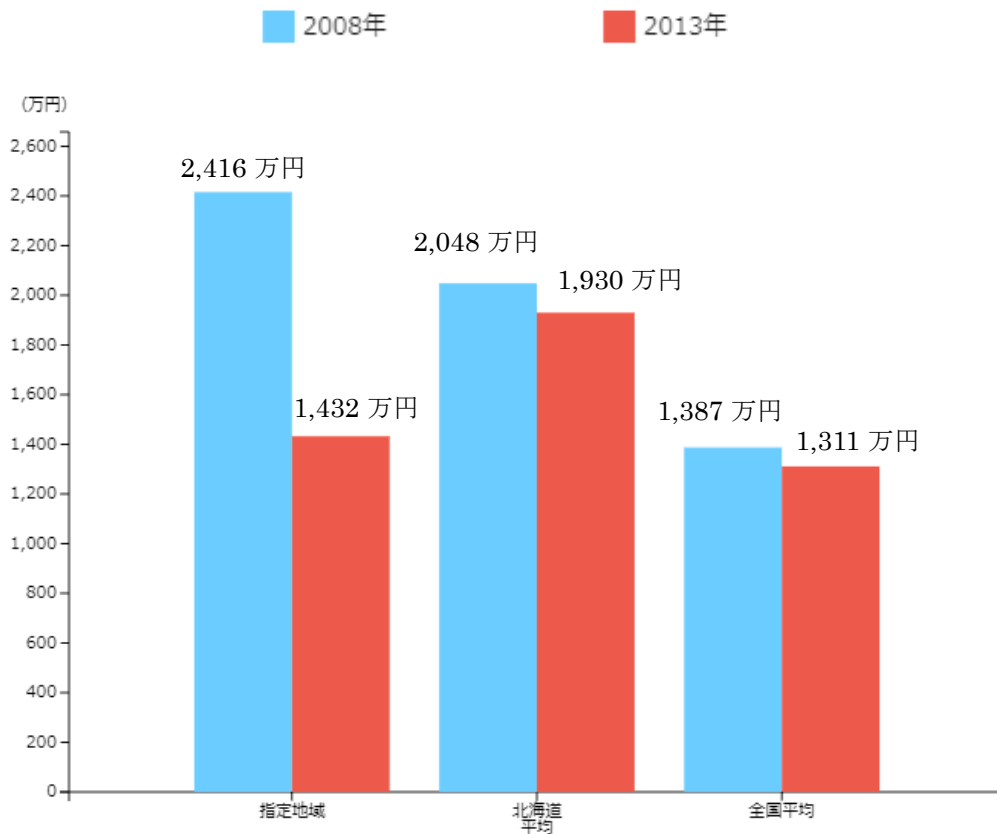
販売金額＝Σ(各階層中位数×各階層経営体数)－農林業センサス「販売金額規模別経営体数」。最上位層の中位数は、7億円として推計
 林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料金収入を指す。林作業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。
 合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は合算結果に反映されない。

林業作業請負収入金額帯からみると、全道平均より事業規模が大きく、道内においても林業が盛んな地域であることが伺えます。

(4) 水産業の状況

(1) 海面漁獲物等販売金額（経営体あたり）

指定地域：北海道むかわ町



【出典】

農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】

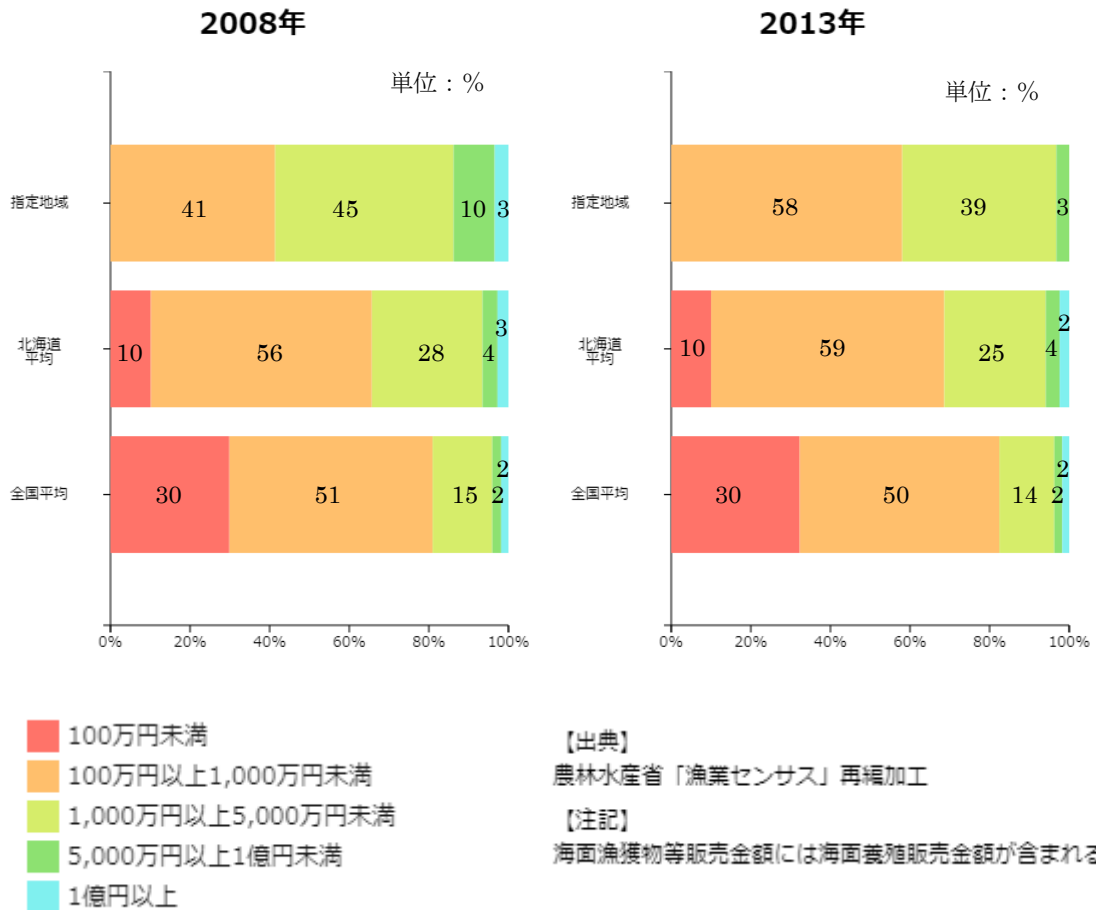
販売金額=Σ(各階層中位数×各階層経営体数)。最上位層の中位数は、16億円として推計。

海面漁獲物等販売金額には海面養殖販売金額が含まれる。

2008年と2013年を比較すると、北海道平均も全国平均も経営体当りの販売額が減少していますが、2013年は、むかわ町の経営体当りの販売額が、全道平均より下回っています。

(2) 海面漁獲物等販売金額帯別の経営体の割合

指定地域：北海道むかわ町



販売価格帯別の経営体の割合をみると、全道平均と比べ、1,000万円以上からの販売価格帯に属する経営体の割合が高くなっています。